

2019年 教育課程論第8回 (11月15日) 社会階層、社会的格差と教育

番号 19605 氏名

- 1 前回のリアクションを読んでの感想
「身の丈にあた」という言葉について、教育を学んでいる
側の目線に立って考えてみる。目標を持て生活することが大切だと実感できた
- 2 社会移動とは何か。社会的地位や社会階層は何で計られるのか。(A参照)
社会移動とは、世代間、ある世代内での社会的地位を移動すること。職業構造の変動などによって社会移動の多寡によって生じる強制移動(構造移動)と、移動の機会の多寡によって生じる和らぎ移動(交換移動)と区別される。社会的地位は試験をして選択する、また教育の重要性が一般的に認識されていくべきである。
人々の間に、教育機会が誰に対しても均等に保障されなければならない確立へ向かう。
- 3 教育は社会移動にどのように関係していますか。(B、C、D 参照)
親の経済的格差が教育を媒介して子どもに伝染される教育の中身は中産階級的であり、経済的に高い階層の文化と親和的であるが、経済的に低い階層の文化が経済的に低い階層の文化より優れているわけではある。経済状況の中で、正規雇用も減り、将来の保障されているわけではなく、進学や就職での選択には余地がある。大学の選択時から、研究室も有名度などもあり、大学の卒業率や仕事も増えた大学や専門選択がある。家庭では、親の教育熱意の差、文化資本との格差、経済的により親の時間割りの欠如、ゆえに子どもと一緒に本を読むことなどができない。
- 4 家庭にはどのような教育力の格差がありますか(A後半、E、G参照)
家庭によって、親の場所によって注目されようにならない。親の教育熱意の差、早期教育のちがい、生活習慣のちがい、格差が生まれてくる。
- 5 失敗した時、どのような適応行動をとりますか(再加熱、縮小、置換、冷却)(F参照)
-
- a. 価値不变 冷却や縮少でしかねない
b. アスペルギー症候群 組織的に強制遷移してしまうと、活動や行動してしまってはならない
c. 価値変換 やがて下してしまってはならない
d. アスペルギー症候群 上昇 カウント頻繁な上昇で再加熱が必要
- 6 社会的格差をなくす(=減少させる)為に、どのような教育政策がとられるべきだと思いますか。(G、E 参照)
今から親になると世代の人たちへの早期学習など家庭での学習の大切さを学び、教えることが求められる。また、政府には奨学金の負担や授業料の無償化などを必要があると考える。
- 7 学校や教師は、社会的格差に苦しむ児童に対して、どのような指導をすればよいですか。
家庭指導の際にも、多くの児童に対する面倒見したり、家庭での学習が不充分な児童には朝早く夜に学校で学習の時間を見つけ、場所で手をもつてあげるなどしておどきを除く。や→云々ネットの講義、家庭の学習力を支援する、生活習慣の改善をさせた
- 8 他の人のコメントをもらう
() → インターネット!
() → 要点をよくまとめられていてよかったです。

2019年 教育課程論第8回 (11月15日) 社会階層、社会的格差と教育

番号 1960 氏名

1 前回のリアクションを読んでの感想

みんなでよく話が上手だと思った。私と同じでおばけが怖いと怖い人が多いとい?なんか嬉しい。藤原さんの課外授業を私も受けたいと思った。自分の嫌いなものを写真に撮るというのはおもしろいと思った。

2 社会移動とは何か。社会的地位や社会階層は何で計られるのか。(A参照)

社会移動とは、異なる時点間で社会成員が、世代間あるいは世代内でその社会的地位を移動すること。社会的地位や社会的階層は、「収入・学歴・職業」で計ることができる。また、社会的地位や社会的階層は、世界的にみても、上昇移動・下降移動といったことが近年増大する傾向がある。

3 教育は社会移動にどのように関係していますか。(B, C, D 参照)

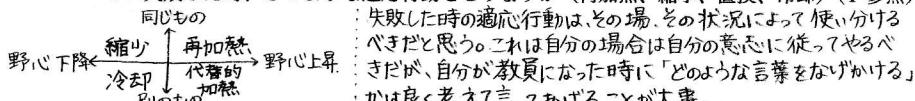
少し前まで「収入・学歴・職業」の中で高い教育(お金や偏差値)を受ければ、良い職業についたりすることができますたりすることができる社会であった。そしてそれは親の地位が高いことが条件であった。

「教育が階層を再生産している」 \longleftrightarrow 教育の平等の機会均等

4 家庭にはどのような教育力の格差がありますか (A後半、E、G参照)

親の経済的格差が教育を媒介して子どもに伝達される。その中身としては、偏差値の高いエリート大学への入学には、私立の中高一貫校が有利になつていて、その私立校への入学のためには、小学校の早い時期からの塾通いが必須になっているなどがある。また、経済力のない親は、文化資本力および時間的ゆとりなどで如ゆえに子どもと一緒に遊びことも、勉強をめたりあることもできない。

5 失敗した時、どのような適応行動をとりますか (再加熱、縮小、置換、冷却) (F参照)



6 社会的格差をなくす (=減少させる) 為に、どのような教育政策がとられるべきだと思いますか。(G、E 参照)

公立・私立で、同じような教育を受けさせるようにする。その上で、1番経済面での格差が社会的格差を起している要因だから、収入などによって支払う授業料をかえるなどといった政策をとっていくといふと思う。また大学だけでなく、高校でも奨学金をどんどん使っていくのもいいと思う。

7 学校や教師は、社会的格差に苦しむ児童に対して、どのような指導をすればよいですか。

- ✓ 人間関係や、生活背景をサポートし、
授業での学力向上を目指す
- ✓ 普通の生活
→ 早ね、早起きなどの習慣
をつけたまげる。
- ✓ 普段から気にしてあげる

8 他の人のコメントをもらう

() → Boooooo. 

() → 先生の言葉もまとめられていて見やすく分かりやすいです。

本日会議

社会階層・社会的格差と教育

2019年 教育課程論第8回 (11月15日) 社会階層・社会的格差と教育

番号 1960 氏名

1 前回のリアクションを読んでの感想

「身の丈にあつた」の発言には、やはり皆批判的だと分かった。

皆の意見を知れて良かった。

2 社会移動とは何か。社会的地位や社会階層は何で計られるのか。(A参照)

社会移動…異なる時点間で社会員が、世代間あるいは世代内での社会的地位を移動すること。

社会的地位の指標…主に職業。

*一時期、教育が身分や家庭によって地位配分システムにとっていたり、社会的階層の壁壁を崩した。

3 教育は社会移動にどのように関係していますか。(B, C, D 参照)

有名大学卒といえども出身地や保護されるゆきにはない。進学や就職への過疎化がみられる。(高度経済成長定期以後)

教育の機会均等は憲法や法律で規定され、子どもたちには平等な教育を受けらる。

うにしたが、実際は育った家族や親の教育方針によって、子どもの受けた教育には格差があります。

4 家庭にはどのような教育力の格差がありますか(A後半、E、G参照)

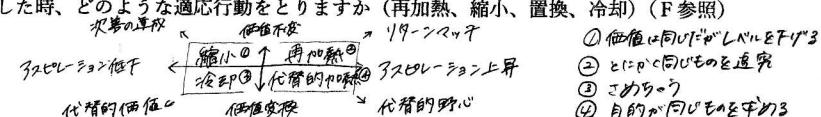
家庭の教育力は、親の経済力や文化資本の差によって格差がありります。

一般に、親の経済力の格差が子どもの学力格差と対応すると言われています。

例 ① 親が子どもに対して投資できる資本が家庭によってなります。

② 親の経済力の格差が家庭の文化資本の格差となってしまい子どもの学力格差を生む。

5 失敗した時、どのような適応行動をとりますか(再加熱、縮小、置換、冷却)(F参照)



6 社会的格差をなくす(=減少させる)ために、どのような教育政策がとられるべきだと思いますか。(G, E 参照)

親の社会階層と子どもの学力との関係は、直接に関係があるというより、その間にさまざまな要因が存在し、影響していることが多い。

→ 傑出した操作する。例)親が子どもの学力に関心を持つ → 親の社会的格差の子どもの学力への影響を制御します。

7 学校や教師は、社会的格差に苦しむ児童に対して、どのような指導をすればよいですか。

児童を見放さずに寄り添いながら本人と一緒に解決を目指す。

少ないチャンスの中で最大限の力を出せるよう、学力面・精神面でサポートする。

8 他の人のコメントをもらう

() → いつも青い目でありますね、重要なところがわかりやすい。

() → 今日もおじいちゃんだね!! 三ヶ月合意書を立てる。

2019年 教育課程論第8回 (11月15日) 社会階層、社会的格差と教育

番号 1960 氏名

- 前回のリアクションを読んでの感想
 嫌いなものに何が書いていくかについて一人一人考えがあり、特に私も感じた「対象に対する向き合い、考え方で生き方が変わる」という言葉の捉え方も多様であった。本当の生き方に教育で「生きる力」を養い、生きる権利を与えるうな指導を行えますようにしたい。
- 社会移動とは何か。社会的地位や社会階層は何で計られるのか。(A参照)
 世代間あるいは世代内でその社会的地位を移動すること。
 社会的地位や社会階層は主として職業と用い、二時点間の地位の比較によって上昇移動や下降移動という形態のパターンや移動距離あるいは全体社会における社会移動量などが測定される。
- 教育は社会移動にどのように関係していますか。(B, C, D 参照)
 教育(学歴)が身分や家柄による地位配分システムにとどかれり、社会的階層の障壁を崩す役割を果たすにあたり。
 身分によって教育に力を入れる度合が変わる。→そうすると、身分の高い=教育を受けられている
 身分の低い=教育を受けられていない(丸印)
- 家庭にはどのような教育力の格差がありますか (A後半、E, G参照)
 <経済力、親子の関係、家庭での生活習慣、親の対人関係、親同士の関係、時間的ゆとり>
 各家庭による様々な要因から教育力の格差があらわれると同時に、各家庭でしか学ぶことのできない学校でも学べないようなことが得られる可能性もある。
- 失敗した時、どのような適応行動をとりますか (再加熱、縮小、置換、冷却) (F参照)
- 社会的格差をなくす (=減少させる) ために、どのような教育政策がとられるべきだと思いますか。(G, E 参照)
 教育の機会均等の実行と、充実、各学校及び自治体による家庭支援が必要だと思う。
 これにより、教育を受ける権利をもつ子どもと、教育を受けさせる義務のある保護者や、家庭のみならず、多様な方面と相互に支え合うことができると思う。これは家庭に最も近い諸学校が実行しやすいのではないかと思う。
- 学校や教師は、社会的格差に苦しむ児童に対して、どのような指導をすればよいですか。
 食事支援、子どもの栄養を確保するための食事の支援
 子ども食堂
 経済支援 政府や自治体による給付金や支援金を配ることで、貧困層の経済支援
 教育支援 貧困で悩む子ども達に強強を無償で教えた
 学校外での学習費用を提供する支援
- 他の人のコメントをもらう
 () → 「いつもよいいっぱいいたわ」
 () → 「きれいに力がありよくまとめていて分かりやすいであります。先生の言葉も書き込みがあり良さであります」

